



保護者各位

2024年11月23日
アムステルダム日本語補習授業校
校長 鈴木 隆 秀

児童・生徒の個人データの処理に関する同意書フォーム提出のお願い

本アムステルダム日本語補習授業校は、EU（欧州連合）とオランダの個人情報保護法に従って児童・生徒の個人データを適切に処理するため、この同意書フォームにて児童・生徒の個人データの処理について保護者としての同意をいただきたくお願い致します。同意を頂ける場合には、下記の同意書フォームに下記の必要事項を記入のうえ、ご提出下さいますようお願い致します。

<https://forms.gle/yZY6ZrQr7FJdrG2Z6>（同意書フォームリンク）

本同意書フォームにおいてお示しいただいた保護者としての同意は、いつでも撤回することができますが、撤回前の同意に基づいて行われた児童・生徒の個人データの処理の適法性に影響を及ぼすことはありません。同意を撤回するには、本校のデータ保護担当者の連絡先（office@jssa.nl）までメールにてご連絡下さい。同意を撤回した旨の通知を本校が受領した時点で、本校はそれ以上の処理を行う法的根拠がある場合を除き、当初同意した目的のために児童・生徒の個人データを処理することを中止します。但し、本校は児童・生徒の保護者の同意が得られなかった「個人データの処理目的」との関係では、児童・生徒の個人データの処理を行うことができないこととなります。どうか趣旨をご理解いただき、リンク先の同意書フォームのチェックボックスにチェックをつける形で同意していただけますよう何卒よろしくお願い申し上げます。チェックボックスのチェックが漏れていますと、同意をしていただけなかったものとして取り扱われることとなりますので、くれぐれもご注意下さい。

保護者としての同意を必要な情報に基づいて（インフォームドコンセント）お示し頂くため、EUの個人情報保護法上のデータ主体としての児童・生徒の権利について説明した別紙（次ページ）を必ずご確認下さい。本校による個人データの処理に関するその他の事項については本校のプライバシーポリシー（別紙添付、追って[アムステルダム日本語補習授業校 Japanese Saturday School Amsterdam](#)に掲載）をごらんください。

以 上



別紙

EUの個人情報保護法（GDPR: General Data Protection Regulation）に基づき、データ主体（児童・生徒）は、本校が処理するデータ主体の個人データに関して行使可能な権利を有します。これらの権利は以下のとおりです。なお、データ主体である児童・生徒が未成年である場合には、児童・生徒の保護者がデータ主体である児童・生徒に代わって本校に対して以下の各権利を行使することが可能です。

- アクセス権：データ主体は、データ主体に関する個人データが処理されているか否かの確認を得る権利、およびそのような処理が行われている場合、その個人データおよびその処理に関連する特定の情報（処理の目的、関連する個人データの種類、個人データが開示されたまたは開示される予定の受取人または受取人の種類、保存期間またはその期間を決定するために使用される基準など）にアクセスする権利を有します。
- 修正する権利：データ主体は、データ主体に関する不正確な個人データの訂正を要求し、不当な遅滞なくこれを受領する権利を有し、また、処理の目的を考慮した上で、不完全な個人データを補完してもらう権利を有します。
- 消去する権利（忘れられる権利）：データ主体は、以下の状況において、データ主体の個人データの消去（削除）を要求し、不当な遅滞なく受領する権利を有します。
 - ✓ 個人データが収集またはその他の方法で処理された目的との関連で必要なくなった場合
 - ✓ データ主体が同意を撤回し、または反対する権利を行使し、処理に関する法的または説得力のある正当な理由が他にない場合
 - ✓ 個人データが違法に処理された場合、または
 - ✓ 消去が本校に適用される法的義務の遵守のために必要な場合
- 処理制限の権利：データ主体は、一定の条件に該当する場合、御自身の個人データの通常の処理から遮断（制限）される権利を有します。
- 処理に反対する権利：データ主体は、データ主体の利益、権利および自由、または法的請求の確立、行使もしくは防御に優先するような、やむを得ない正当な理由がない場合に限り、特定の状況に関連する理由および一定の条件が適用される場合にデータ主体の個人データの処理に反対する権利を有します。
- データポータビリティの権利：データ主体の個人データの処理が同意または契約という法的根拠に基づき自動化された手段によって行われる場合、データ主体は、構造化され、一般的に使用され、機械で読み取り可能な形式で、データ主体の個人データのコピーを取得する権利を有し、また、本校に妨げられることなく、当該個人データを別の管理者に送信する権利を有します。
- 同意を撤回する権利：データ主体の個人データの処理が同意に基づいて行われる場合、データ主体はいつでも同意を撤回することができますが、撤回前の処理の適法性に影響を及ぼすことはありません。同意を撤回するには、本校のデータ保護担当者の連絡先（office@jssa.nl）までメールにて御連絡下さい。データ主体が同意を撤回した旨の通知を本校が受領した時点で、本校は、それ以上の処理を行う法的根拠がない場合を除き、データ主体が当初同意した目的のためにデータ主体の個人データを処理することを中止します。

上記の権利を行使される場合は、下記連絡先まで御連絡ください。

アムステルダム日本語補習授業校 データ保護担当者

Karel Klinkenbergstraat 137, 1061 AL Amsterdam Eメール：office@jssa.nl TEL:020-611-3629

なお、データ主体の個別の権利行使の要求に明らかに根拠がない場合、または当該要求が過剰な場合には、合理的な手数料を請求させていただくことがあります。

本校がデータ主体の権利行使の要請を処理した方法、または本校がデータ主体の個人データを収集もしくはその他の方法で処理した方法に満足いただけない場合、データ主体は、オランダのデータ保護監督当局（<https://autoriteitpersoonsgegevens.nl/>）をはじめとする関連する EEA（European Economic Area: 欧州経済領域）加盟国のデータ保護監督当局（特に、データ主体の常居所地、勤務地、または GDPR 違反が疑われる場所の EEA 加盟国のデータ保護監督当局）に苦情を申し立てることができます。

以 上